

令和8年度 平野北中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、学校が各調査の結果や各調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、各調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにし、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

Ⅰ 「全国学力・学習状況調査」の調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

Ⅰ 全国学力・学習状況調査

※英語はICT端末等を用いた、文部科学省CBTシステム（MEXCBT）によるオンライン方式（CBT=Computer Based Testing）で実施。

学年		生徒数 (人)	平均正答率 (%)		平均無解答率 (%)		平均IRTスコア
実施月日			国語	数学	国語	数学	(参考)英語3技能
3 年	学校	111	59	56	4.6	9.5	489
	大阪市	-	60	55	5.4	11.4	499
4月23日	全国	-	63.9	57.0	4.9	10.4	499

※IRTとは、国際的な学力調査等で採用されているテスト理論です。

この理論を使うと、異なる問題から構成される試験・調査の結果を、同じものさし（尺度）で比較することができます。

※IRTスコアとはIRTに基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500を基準にした得点で表すものです。

調査結果とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について

成果と課題

○全国学力・学習状況調査結果

<国語>大阪府と比較して2.0ポイント、全国と比較して4.9ポイント低い。

学習指導要領内容「言葉の特徴や使い方に関する事項」では、大阪府と比較して1.3ポイント、全国と比較して3.9ポイント低い。

A「話すこと・聞くこと」の領域においては、大阪府と比較して1.9ポイント、全国と比較して5.6ポイント低い。

B「書くこと」の領域においては、大阪府と比較して1.7ポイント、全国と比較して4.6ポイント低い。

C「読むこと」の領域においては、大阪府と比較して2.1ポイント、全国と比較して5.0ポイント低い。

<数学>大阪府と比較して1.0ポイント高く、全国と比較して1.0ポイント低い。

学習指導要領内容 A「数と式」領域においては、大阪府と比較して1.5ポイント高く、全国と比較して0.7ポイント低い。

B「図形」領域においては、大阪府と比較して1.9ポイント、全国と比較して2.6ポイント低い。

C「関数」の領域におい、大阪府と比較して1.7ポイント高く、全国と比較して0.3ポイント低い。

D「データの活用」の領域においては、大阪府と比較して3.5ポイント高く、全国と比較して0.3ポイント低い。

<英語>平均IRTスコアは491で、大阪市及び全国と比較して8.0ポイント低い。IRTバンド分布では、バンド3の割合が49.5%と、大阪市の39.9%、全国の36.7%を上回っている。一方、バンド4・5の割合は、大阪市及び全国を下回っている。このことから、基礎的な英語力の定着を図るとともに、既習事項を活用して自分の考えや理由を英語で表現する活動を充実させ、より高い力を身に着けた生徒の育成を図る必要がある。

今後に向けて

国語では、文章や情報を正確に読み取り、根拠を持って自分の考えを表現する力の育成を重点とする。数学では、大阪府平均を上回る「数と式」「関数」「データの活用」の強みを生かし、「図形」領域の指導を充実させる。英語では、聞く・読む・話す・書く活動を相互に関連付け、既習事項を活用して自分の考えを表現する力を育成する。全科目を通して、基礎的・基本的な知識・技能の定着と、思考・判断・表現する力の向上を図る。

令和8年度 全国学力・学習状況調査 教科に関する調査結果の概要（英語）

英語 平均IRTスコア

学校	491 (489)
大阪市	499 (499)
全国	499 (499)

※ 4技能の平均IRTスコアです

※ () 内は3技能の平均IRTスコアです



【IRT(Item Response Theory：項目反応理論）とは】

児童生徒の正答・誤答が、問題の特性（難易度、測定精度）によるのか、児童生徒の学力によるのかを区別して分析し、児童生徒の学力スコアを推定する統計理論です。

この理論を使うと、異なる問題から構成される試験・調査の結果を、同じものさし（尺度）で比較することができます。

【IRTスコアとは】

IRTに基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500を基準にした得点で表すものです。

導入する年（中学校英語は令和8年度）の全国平均を基準値とし、経年比較が可能な形で算出します。

【IRTバンドとは】

IRTスコアを1～5の5段階に区切ったものです。3を基準のバンドとし、5が最も高いバンドとなります。

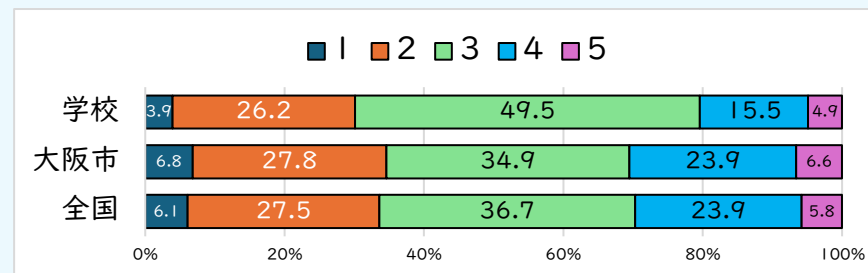
※IRTスコア・IRTバンドは、難易度の高い問題にしていると高めに、難易度の低い問題に誤答していると低めに算出されます。

IRTバンド分布比較（4技能）

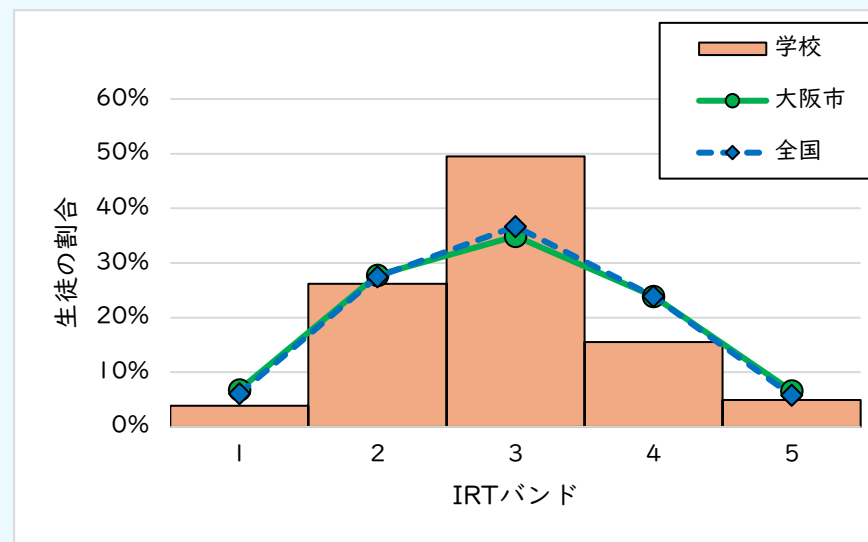
	1	2	3	4	5
学校	3.9	26.2	49.5	15.5	4.9
大阪市	6.8	27.8	34.9	23.9	6.6
全国	6.1	27.5	36.7	23.9	5.8

※ 4技能のIRTバンド分布です

IRTバンド分布比較（4技能）



IRTバンド分布グラフ（4技能）

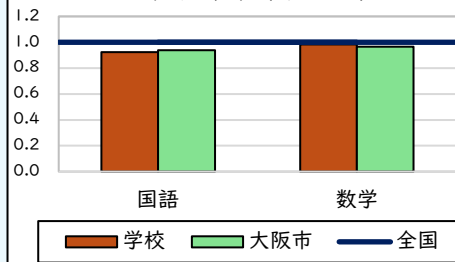


令和8年度 全国学力・学習状況調査 教科に関する調査結果の概要（国語・数学）

平均正答率（％）

	国語	数学
学校	59	56
大阪市	60	55
全国	63.9	57.0

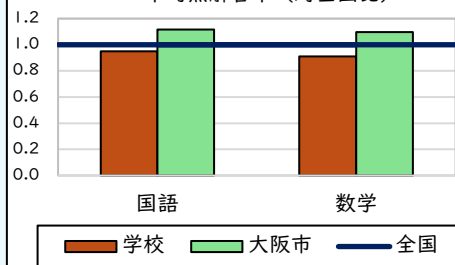
平均正答率（対全国比）



平均無解答率（％）

	国語	数学
学校	4.6	9.5
大阪市	5.4	11.4
全国	4.9	10.4

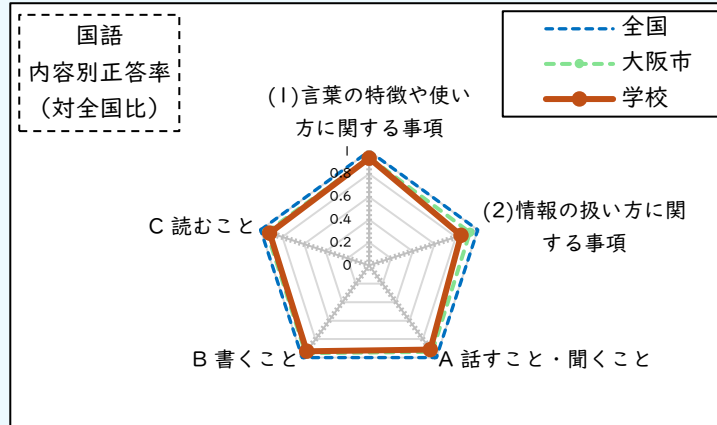
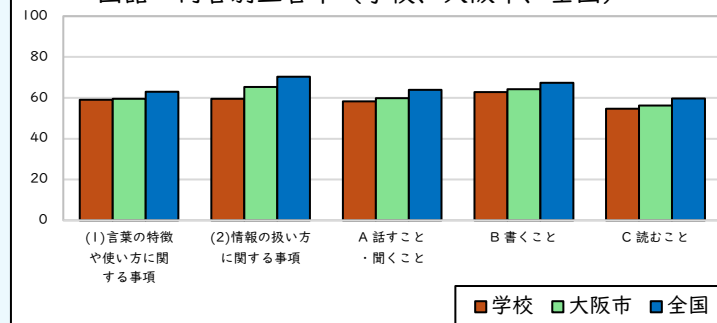
平均無解答率（対全国比）



【国語】内容別正答率

学習指導要領の内容	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方にに関する事項	5	59.1	59.5	63.0
(2)情報の扱い方にに関する事項	1	59.5	65.3	70.4
(3)我が国の言語文化に関する事項	0	-	-	-
A 話すこと・聞くこと	3	58.3	59.9	63.9
B 書くこと	3	62.8	64.2	67.4
C 読むこと	3	54.7	56.3	59.7

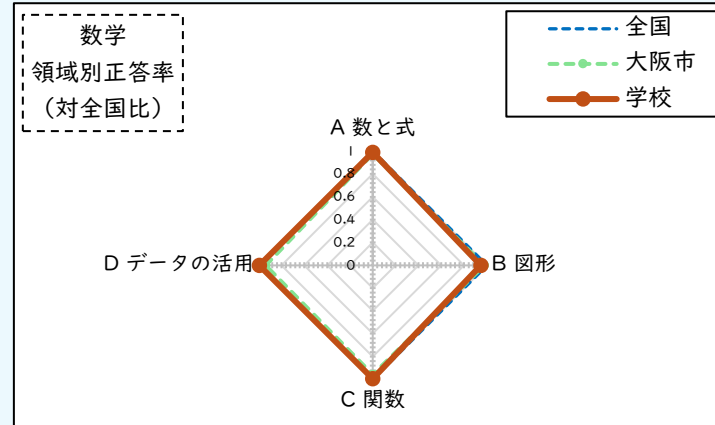
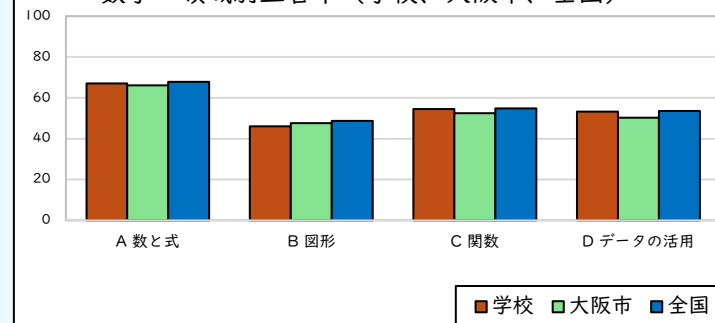
国語 内容別正答率（学校、大阪市、全国）



【数学】領域別正答率

学習指導要領の領域	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
A 数と式	5	67.1	66.1	67.8
B 図形	4	46.1	47.6	48.7
C 関数	3	54.5	52.5	54.8
D データの活用	4	53.2	50.2	53.5

数学 領域別正答率（学校、大阪市、全国）



生徒質問調査より

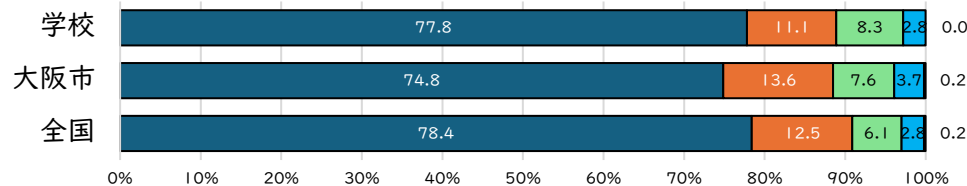
※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 □ その他・無回答

質問番号

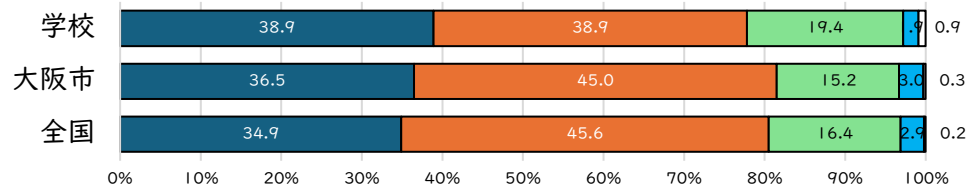
質問事項

(1) 朝食を毎日食べていますか



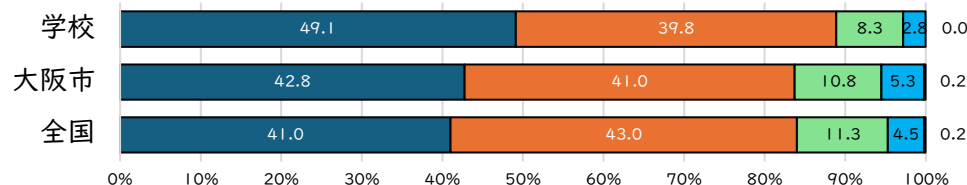
1 している
2 どちらかといえば、している
3 あまりしていない
4 全くしていない

(2) 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか



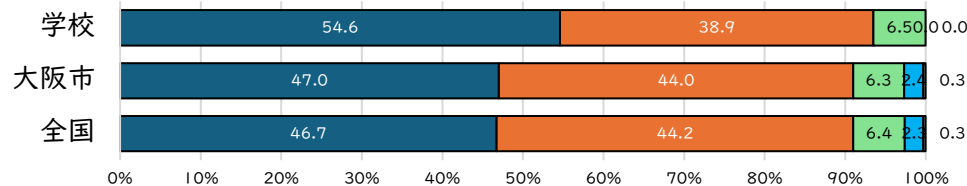
1 している
2 どちらかといえば、している
3 あまりしていない
4 全くしていない

(8) 自分には、よいところがあると思いますか



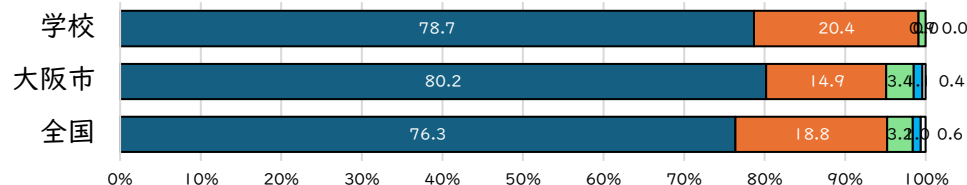
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(9) 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(12) いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

学校質問調査より

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

質問番号

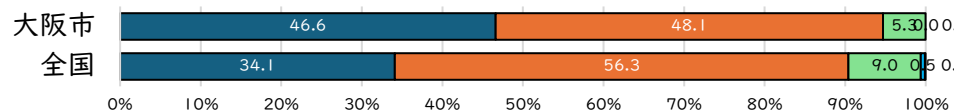
質問事項

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 □ その他・無回答

(9)

調査対象学年の生徒は、礼儀正しいと思いますか

【学校の回答】 2 どちらかといえば、そう思う

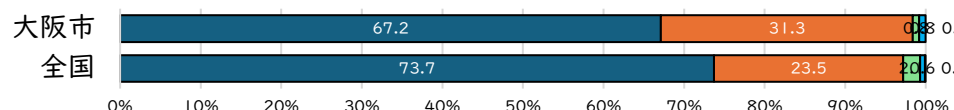


1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

(13)

スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーによる教育相談に関して、生徒が相談したい時に相談できる体制となっていますか

【学校の回答】 2 どちらかといえば、そう思う

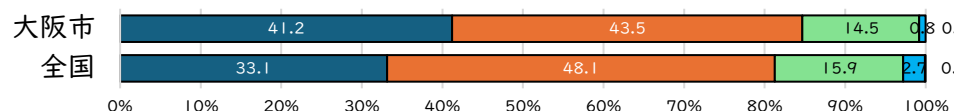


1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

(24)

生徒にとって、学校施設全体として、生徒が学びや生活がしやすく、居心地のよい建物だと思いますか

【学校の回答】 1 そう思う

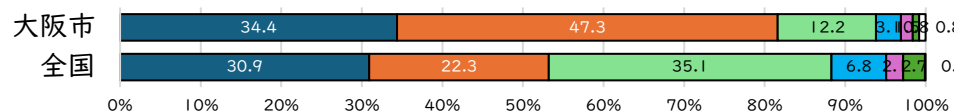


1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

(75)

生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどの端末を、どの程度家庭で利用できるようにしていますか

【学校の回答】 1 毎日持ち帰って、毎日利用させている

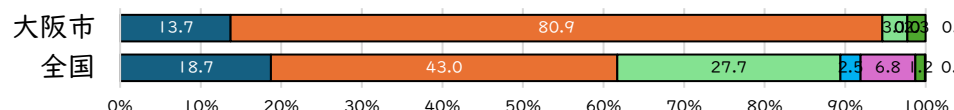


1 毎日持ち帰って、毎日利用させている
2 毎日持ち帰って、時々利用させている
3 時々持ち帰って、時々利用させている
4 持ち帰らせていない
5 持ち帰ってはいけないこととしている
6 臨時休業等の非常時のみ、持ち帰ることとしている

(85)

調査対象学年の生徒に対して、前年度に、職場体験活動を何日程度行いましたか

【学校の回答】 2 1日～2日



1 実施しなかった
2 1日～2日
3 3日
4 4日
5 5日以上（連続して実施）
6 5日以上（分散して実施）